



第 14 回大学評価シンポジウム

<プログラム>

- 開催日時：2025 年 3 月 24 日（月）14:00～16:30
- 開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）
- 参加対象：大学評価及び短期大学認証評価の評価委員会委員・幹事、分科会委員・同候補登録者、財務評価分科会委員・同候補登録者
- テーマ：認証評価の第 4 期目へのステップ—評価経験をどう活かせるか—

<開催趣旨>

大学基準協会の大学評価・短期大学認証評価は、2025 年度から認証評価としての第 4 期を迎えます。第 2 期、第 3 期では、内部質保証を中心概念として評価を行ってきましたが、この 14 年の進展を踏まえ、第 4 期においても内部質保証は引き続き重要な柱となります。特に、「学習成果を基軸に据えた内部質保証の重視とその実質性を問う評価」が、新たな評価の重要なテーマとなります。では、この第 4 期の評価は、これまでの評価と何が異なるのでしょうか。また、評価者がこれまで培ってきた経験を、どのように活かすことができるのでしょうか。さらに、評価者間で今一度共有すべき認識とは何でしょうか。

今回の大学評価シンポジウムでは、評価経験者の知見をもとに、第 3 期までの経験と比較しながら、新たなステップに向けて評価者が共有すべき認識について議論します。内部質保証をめぐる上記テーマに加え、特色ある取り組みの評価のあり方などについても議論を深めていきます。本シンポジウムを通じて、評価経験者のみならず、これから評価に携わる方々にとっても有益な機会となることを目指します。

1. プログラム：

(敬称略)

14:00-14:05 (5 分)	◆開会挨拶：原 和世 (大学基準協会評価研究部長兼国際企画室長)
14:05-14:40 (35 分)	◆説明：松坂顕範 (大学基準協会企画・調査研究課長)
14:40-15:05 (25 分)	◆評価経験者話題提供①：在間敬子 (大学評価委員会委員・京都産業大学学長)
15:05-15:30 (25 分)	◆評価経験者話題提供②：立石浩一 (2023 年度大学評価分科会主査・神戸女学院大学副学長)
10 分	～ 休 憩 ～
15:40-16:30 (50 分)	◆パネルディスカッション、参加者からの質問への回答 パネリスト：2 名の評価経験者 中村安希 (大学基準協会評価第 1 課長) 司会：松坂顕範